

2012年APEC閣僚会議共同声明・骨子

平成24年9月6日

貿易投資の自由化及び地域経済統合

- WTOドーハ・ラウンド交渉の成功裏の妥結に向け、様々な斬新で信頼性のあるアプローチを採り続けることを実務者に指示。
- 保護主義抑止につき、スタンドスティル（新たな保護主義措置の不導入）、ロールバック（既存の保護主義措置の是正）及びWTO整合的であっても重大な保護主義的影響を及ぼす措置の最大限の自制に関するコミットメントを再確認。
- ITA（情報技術協定）拡大交渉の早期妥結に向けた取組を指示。
- 自由で開かれた貿易投資を目指すボゴール目標達成への進捗を歓迎。
- 本年の次世代型貿易投資課題「FTA透明性モデル章」を承認。また、2013年にローカルコンテンツに関する議論を行うことを事務方に指示。
- 投資官民対話等を定期的実施することを事務方に指示。
- 信頼ある電子環境の重要性を再確認し、情報通信技術の災害対応協力を促す。
- 昨年APECホノルル首脳合意に基づき、2015年末までに環境物品の実行税率を5%以下に削減する「APEC環境物品リスト」を歓迎し、首脳に承認を勧告。
- 野生動植物の違法な供給・需要の抑制及び持続可能な管理強化措置を約束。
- 自由で開かれたエネルギー市場及び透明な投資制度の重要性を確認。天然ガスの生産・貿易の増大はグリーン成長を前進させる。関心を有するエコノミーによる原子力の安全かつ確実な利用も地域のエネルギー・ミックスに寄与。石油・ガスの緊急事態対応の向上のための活動を歓迎。

食料安全保障の強化

- オープンで透明性ある市場を通じ、持続的な農業生産及び生産性の増大等を促し域内の食料安全保障を強化する「APEC食料安全保障に関するカザン宣言」の採択を歓迎。
- 食料品の輸出規制が農産品価格に影響を与えることに鑑み、保護主義抑止の約束を再確認。
- 農業の持続可能な成長に向け、革新的技術を採用しつつ、農業投資を促進。「責任ある農業投資原則（PRAI）」を評価。
- 食料安全保障政策パートナーシップ（PPFS）第1回会合の成果を歓迎。
- APEC食料安全保障情報プラットフォーム（APIP）の開始を歓迎。当該プラットフォームとG20の食料市場情報システム（AMIS）との連携を促進。

信頼できるサプライチェーンの構築

- サプライチェーン可視化促進や中小物流業者能力向上に関する取組を含めた「サプライチェーン連結枠組行動計画」の進捗を歓迎。
- 交通や貨物ルート多様化に向けた可能性を追求。また災害予防・管理協力を推進。
- 安全な物流構築に向けたテロ対策に関する協力推進に合意。

革新的成長のための緊密な協力

- 科学技術イノベーション政策パートナーシップ（PPSTI）及び新しい技術の商業化に向けたイノベーション技術対話（ITD）の設立を歓迎。
- 自由で開かれた貿易投資システムの構築を通じた、国境を超えたイノベーションの促進に関する「イノベーションと貿易」会議の成果を確認。
- イノベーション促進のための知財保護の重要性を共有。
- 中小企業がイノベーションに果たす役割に留意し、中小企業・小規模企業の支援策に関する最良事例の共有や貿易促進に向けた取組の推進を歓迎。

- (附属書A) A P E C透明性モデル章
- (附属書B) 信頼性あるサプライチェーンに向けて
- (附属書C) エネルギー効率のためのナノテクノロジーに関する政策提言
- (附属書D) A P E C教育形成会議の結果概要
- (附属書E) 人的資本への投資